

# 広島市子ども文化科学館指定管理者の業務実施状況（平成29年度）の概要・評価

## 1 施設名及び指定管理者等

(1) 施設名及び所在地	広島市子ども文化科学館（広島市中区基町5番83号）
(2) 指定管理者等 （非公募により選定）	(1) 名称及び所在地 公益財団法人広島市文化財団 （広島市中区加古町4番17号） (2) 指定期間 平成26年4月1日～平成30年3月31日 (3) 指定管理料の限度額（4年間分） 6億9,304万9千円

## 2 実地調査の実施状況

区分	内容
実施年月日	平成30年2月8日（木）及び3月6日（火）
実施内容	業務実施状況の確認、職員へのヒアリングを行った。

## 3 業務の実施状況

平成29年度の状況		市の評価
(1) 管理業務の実施状況		
ア 市民の平等利用の確保策の実施状況 (ア) 広島市子ども文化科学館条例等関係法令を遵守し、理由もなく市民の施設利用を拒んだり、不当な取扱いが生じないよう、研修等により、職員に周知徹底を図り、市民の誰もが平等に利用できるように対応している。 (イ) 施設の利用案内等の情報をホームページ等により提供している。		○
イ 事業の実施状況 次の事業を主に実施している。 (ア) プラネタリウム（「一般投影」「星空投影」「幼児向け（七夕）投影」等の番組制作、投影及び解説） (イ) 企画展示（「魅惑のオートマタ」、「君もあなたも科学研究をやってみよう!」、「2017ノーベル賞展」、「広島いん石15周年」等） (ウ) 常設展示（子どもたちを対象とした科学に関する展示） (エ) 教室事業（科学教室、創作教室、ワークショップ楽しい工作室、サイエンスショー等） (オ) ホール事業（こども音楽会、こども劇場） (カ) グループ活動支援（プラネタリウムクラブ、広島少年少女発明クラブ、アマチュア無線クラブ）		○
ウ 維持管理業務等の実施状況 (ア) 次の業務を実施している。 a こども文化科学館への入館の制限に関すること。 b こども文化科学館の施設及び設備の維持管理に関すること。 c その他教育委員会が定める業務 (イ) 特記事項 定期点検等を適正に実施した結果、誘導灯のランプ不良があったため、速やかに交換した。 また、外壁塗膜に劣化・白華・剥落箇所が見られたため、危険防止措置（あらかじめ剥落の恐れのある箇所の塗膜を落としておく）を行った。		○

平成29年度の状況				市の評価
(2) 指定管理料等の収支状況				○
ア 平成29年度の状況				
区分	計画 (ア)	実績 (イ)	差引 (イ) - (ア)	
収入 (a)	1 億 6,934 万 1 千円	1 億 7,569 万 9 千円	635 万 8 千円	
指定管理料	1 億 5,747 万円	1 億 5,747 万円	0 千円	
利用料金	1,187 万 1 千円	1,260 万 4 千円	73 万 3 千円	
その他	0 千円 繰入金(0千円) 繰入(0千円)	562 万 5 千円 繰入金(549 万 5 千円) 繰入(13 万円)	562 万 5 千円 繰入金(549 万 5 千円) 繰入(13 万円)	
支出 (b)	1 億 6,934 万 1 千円	1 億 7,569 万 9 千円	635 万 8 千円	
差引 (a) - (b)	0 千円	0 千円	0 千円	
イ 特記事項 指定管理料と利用料金等の合計では賄えない支出については、同じ指定管理者が管理する施設からの繰入金等により対応しており、運営に支障は生じていない。				
(3) その他				
ア 利用者ニーズの把握及びそれを踏まえた管理運営の実施状況（指定管理者によるアンケートの実施等） 企画展、教室事業においてアンケート調査を実施するとともに、常設のアンケートボックスを設置し、利用者ニーズを踏まえた事業・管理運営ができるように努めている。				○
イ 個人情報保護への対応状況 個人情報保護規程、個人情報保護取扱要領及び個人情報取扱マニュアルを作成し、職員への周知徹底を図ることにより適切に対応している。				○
ウ 情報公開の実施状況 情報公開規程及び情報公開実施要領を作成し、職員への周知徹底を図ることにより適切に対応している。				○
エ 緊急事態、不法行為等への対応状況（防災、防犯などの安全対策を含む。） 自衛消防隊を組織するほか、安全対策マニュアルを作成し、職員への周知徹底を図ることにより、利用者の安全対策や緊急事態への適切な対応を行っている。				○
オ 苦情・要望への対応状況 「苦情対応マニュアル」を作成し、職員への周知徹底を図ることにより適切に対応している。 (今年度は苦情等該当なし)				○
カ 配置人員及び職員研修の実施状況等 (ア) 配置人員（4月1日現在） 15人（うち専門職員である学芸員（必置）及び教員経験者13人） (イ) 職員研修の実施状況 接遇研修、倫理研修、福祉研修、全国プラネタリウム研修、日本プラネタリウム協議会中四国地域ワーキンググループ研修会等 (ウ) 労働基準法等の遵守状況 雇用契約、賃金計算、労働時間管理について、適正に実施しており、また、最低賃金額を順守している。				○
キ 自己評価の実施状況 評価基準を作成し、教室事業や企画展、年間を通じたアンケート調査を実施し、それに基づき自己評価を実施している。				○
業務の実施状況の評価				A

#### 4 施設の利用状況

平成29年度の状況				市の評価	特記事項
ア 利用者数等				C	利用促進に努めたが、個人入館者が減少（対前年比133,401人減）したため、目標利用者数を下回っている。 減少理由には、大型商業施設やレジャー施設の開業が続いたことによる影響及び常設展示の魅力の逡減などが考えられるが、今後は、より魅力ある企画展の開催に一層取り組むとともに、学芸員自らの制作による常設展示の整備、話題性の高い内容のプラネタリウムの上映等を実施して利用促進を図るよう指導した。
目標利用者数 (ア)	利用者数実績 (イ)	差引 (イ) - (ア)	達成率 (イ) / (ア)		
48万4,000人	37万6,201人	△10万7,799人	77.7%		
※ 前年度実績 50万7,855人（増減率△25.9%） ※ 参考：その他の利用者数等 <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 館外事業利用者数 23人</li> <li>・ ホームページ閲覧件数 30万4,308件</li> </ul>					
イ 利用促進策等の実施状況					
(ア) 広報の充実（広報紙「広島市こども文化科学館だより」の作成、関係団体への働きかけ、マスコミへの情報提供等）					
(イ) 指定管理者の提案による取組					
a 開館日の拡大					
8月6日に開館					
b 開館時間の延長					
開館時間を2時間から3時間程度延長して天体観望会の事業を実施している。					
c 利用料金の設定					
(a) 「大人もこどもになる日」					
プラネタリウムの親子での利用促進を図るため、第2土曜日（祝日等を除く）は大人の通常料金を半額としている。					
(b) リフレタリウム					
プラネタリウムの利用促進を図るため、平日の昼休みの時間を活用した短時間のリラクゼーション投影において割引料金を設定している。					

#### 5 利用者の満足度

アンケート調査の実施結果等	市の評価	特記事項
市と指定管理者が共同で実施したアンケート調査結果（標本数2,257件）では、サービス内容などの満足度については、満足が94.6%、不満が1.6%であった。	A	

#### 6 評価

区分	市の評価	特記事項
<b>評価（5段階評価）</b>	<b>3</b>	大型商業施設やレジャー施設の開業が続いたことによる影響もあると考えられるが、施設の利用状況が目標を達成していなかったため、より魅力ある企画展の開催や学芸員自らの制作による常設展示の整備などの利用促進策に取り組むことにより、新たな来館者の開拓やリピーターの増加に努めるよう指導した。
業務の実施状況	A	
施設の利用状況	C	
利用者の満足度	A	